

コロナ禍から回復の兆しが見えるも人材不足や物価高などコスト増により収益を圧迫し先行きは厳しい状況が続く ～経営諸課題実態調査～

当所会員事業所205社を対象に「景気認識」、「金融」、「経営諸課題」について無記名式のアンケート調査を実施した。(調査期間：令和5年10月10日～11月1日、回答率35.6%)

1. 景気認識について

「受注・売上」は「増加」が35.6% (前年比+7.0)・「減少」が32.9% (前年比▲1.8) となった。「増加」が「減少」を上回ったのは平成25年調査以来10年ぶり。仕入・原材料価格の上昇については、「影響を受けている」事業所が72.6% (前年比+1.2) となった。また、「今後の見通し」は「好転する」が9.6% (前年比+0.4) と「悪化する」が39.7% (前年比▲0.1) となり、景気認識はコロナ禍と比較して回復の兆しが見える結果となった。

2. 金融について

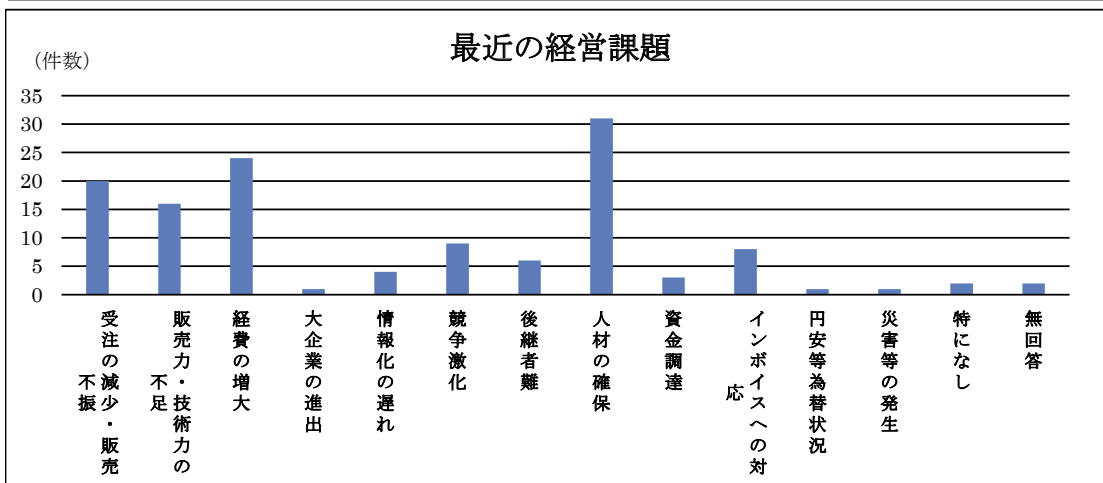
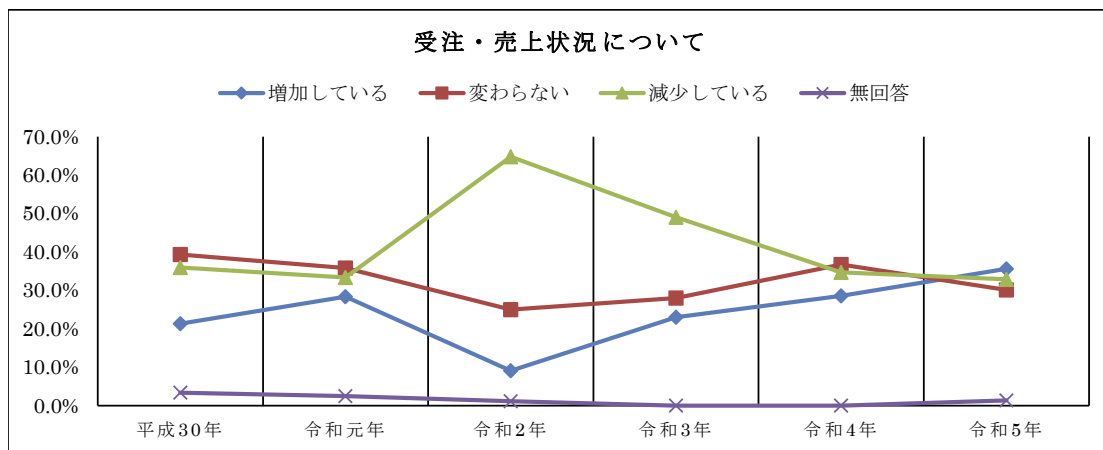
現在の資金繰りは「余裕がない」が26.0% (前年比+2.5) と増加していることや資金調達についても「困難」と回答する事業所も9.4% (前年比+2.2) とやや増加している。なお、借入意向がある場合の資金用途については「通常の運転資金」が38.9% (前年比+7.6)、「売上増加に伴う運転資金」が33.3% (前年比+20.8) となり、売上増加に伴う仕入・買掛金等決済のための資金需要が見込まれる結果となった。

3. 経営諸課題について

原材料価格等の高騰に伴う価格転嫁の状況について「価格転嫁できてない」と回答した事業所は23.3% (前年比+7.0) となり、競争激化や失注の不安から値上げへ踏み出せない事業所も多い。人材不足の状況については「不足している」が47.9%と多くの事業者が人材不足の課題を抱えている結果となった。また、経営上の課題について、「受注増加による人材不足や退職者の欠員補充が課題(建設業)」、「引合いに対して対応できる技術者が採用できない(サービス業)」、「仕事量に対する人員配置が上手くできていない(卸売業)」といったコメントがあった。



※詳細はHPよりご確認下さい。

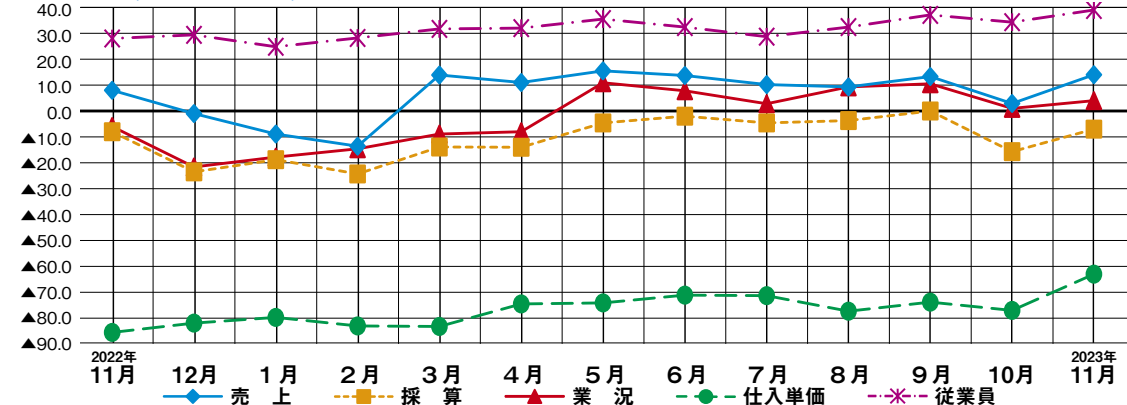


【お問い合わせ】新潟商工会議所中小企業振興部 経営相談課 (TEL：025-290-4411)

【11月の概要】

直近の景況感を示すDI値は、全ての項目で上昇し、「売上」は11.1ポイント、「仕入単価」は14.0ポイントと、ともに2ケタの改善となった。「仕入単価」は長らく▲70～▲80ポイント台で推移してきたが、今月は2021年9月を最後に26か月ぶりの▲60ポイント台に上昇した。また、先行き見通しを示すDI値では、「仕入単価」は15.0ポイントと大幅に改善し、「売上」も8.2ポイントと改善している。一方、コメントでは、中東情勢の悪化により今後の原油価格の動向を不安視する声や、円安進行による輸入原料の高騰に悩む声が見られた。価格転嫁を十分に行えない一部の業種や事業所では、コスト上昇分がそのまま企業負担となり、収益が圧迫されている。政府や日銀の対策も注視しながら、より慎重な経営が求められる。

景気動向(前年同月比)全産業DI値 (2022年11月～2023年11月)



月	全産業平均DI値					向こう3か月間の先行き見通しDI値				
	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
9月	13.3	0.0	10.5	▲73.8	37.1	21.9	7.6	7.6	▲50.5	35.2
10月	2.9	▲15.7	1.0	▲77.0	34.3	10.8	▲1.0	7.8	▲50.0	38.2
11月	14.0	▲7.0	4.0	▲63.0	39.0	19.0	▲2.0	2.0	▲35.0	35.0

晴れ (30≤DI)
 曇りのち晴れ (15≤DI<30)
 曇り (0≤DI<15)
 曇りのち雨 (▲20≤DI<0)
 雨 (DI<▲20)

「売上」「仕入単価」は大幅な改善を示すも、人手不足に加え、円安進行や中東情勢など不安要素は多い

建設業	2024年問題に向け、これまでの3年間の意識改革・業務改善の成果を積み上げながらそれらを活かすべく取組中。(ゼネコン) インボイス制度が導入されたため、少し混乱している。(電気工事)
製造業	円安の進行とともに原材料の値上げが後を絶たず、得意先の理解は一定程度あるものの、価格転嫁は進まない。(製菓) インフラのメンテナンス要請に一部応えられない状況。人手不足は今後も続くと思われる。(鋼材)
卸売業	雇用調整助成金がなくなり厳しい状況。売上は回復基調にあるも円安進行で仕入原価値上りが予想される。(調理器具) 秋冬野菜も出回ってきたが、例年に比べ出荷量が少なくサイズも小さい。物価高の影響で業績は厳しい見通し。(青果)
小売業	円安長期化で利益面の影響が大きい。消費の優先度が比較的低い耐久消費財を扱う当業界は苦戦が予想される。(ホームセンター)
サービス業	人流は増加傾向だが、物価は高止まりで推移しているため、業況は良くない。ライドシェアの動きも心配。(タクシー) 中東地域の不安定化が続いており、原油価格の高騰が心配である。(運輸) 慢性的な人手不足が改善されない。人員確保のために賃金を上げており、厳しい経営環境が続いている。(警備)

工場・倉庫・HACCP 対応食品工場の建築おまかせください!!

コスモ建設株式会社
システム建築事業部

コスモ建設(株) で検索

〒950-0983 新潟市中央区神道寺 2-2-25
TEL: 025-245-7111 FAX: 025-245-7119
メールアドレス: info@cosmo-k-co.com

※日鉄物産システム建築(株)の施工会員です。

システム建築で
事業課題に
お応えします。

プランへの対応性

建築コストの低減

建物の信頼性

工期の短縮